

## 1 らむ

基本形	らむ
活用の型	四段型
未然形	○
連用形	○
終止形	らむ
連体形	?
已然形	?
命令形	○

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

(3) **聞いているだろう**

<古文> 親など、いかに聞くらむ  
 <現代文> 親などは、どのように聞いているだろう

【主な意味と用法】

- ・ 婉曲  
「～のような」  
母なき子持たらむ心地して  
(母のいない子を持つような気がして)
- ・ 伝聞  
「～すとかいいう」  
人の言はむことをまねぶらむよ  
(人の言うようなことをまねすとかいいうことだよ)
- ・ 原因推量  
「どうして～するのだろうか」  
いまさらに、など忍び給ふらむ  
(いまさらなぜ隠れようとなさるのですか)
- ・ 推量  
「～だろう」  
峰の桜は散りへてぬらむ  
(峰の桜は今ごろは散ってしまっているだろう)

## 2 めり

基本形	めり
活用の型	ラ変型
未然形	○
連用形	めり
終止形	めり
連体形	める
已然形	めれ
命令形	○

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

(6) **あるらしい**

<古文> 恐ろしと思ひつるにこそあるめれ  
 <現代文> 恐ろしいと思ったのであるらしい

【主な意味と用法】

- ・ 推定  
「～らしい」  
日も暮れ方になりぬめり  
(日も暮れ方になったらしい)
- ・ 婉曲  
「～のような」  
少納言の乳母とぞ人言ふめるは、この子の後見なるべし  
(少納言の乳母と言うような人は、この子の世話役なのだろう)



## 【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



## 【オマケの一題】

古文・漢文

次の白文の、カッコ内の読み方は？ 春眠「不覚」暁  
 (A) おぼふべし (B) おぼえじ (C) おぼえらる (D) おぼえず